

2020年の北海道とカナダ・アルバータ州の姉妹友好提携40周年を記念した、議会間交流に関する合意書のオンライン調印式の様子について、北海道庁国際局国際課のマレイナ・マコヘニー国際交流員をご紹介します。



2020年： 北海道と友好州との提携記念の年



2020年は、北海道にとって特別な年でした。米国・マサチューセッツ州との姉妹提携30周年と、カナダ・アルバータ州との姉妹提携40周年を迎えたからです。マサチューセッツ州との姉妹友好提携30周年記念事業として、北海道の小中学校7校と、マサチューセッツ州などの小中学校との間で、文化交流派遣授業とレター交流が実施されました。もっと詳しいことを知りたい方は、[こちら](#)をご覧ください。

今回の赤れんが通信では、北海道・アルバータ州の姉妹友好関係と、今年3月に開催された北海道議会とアルバータ州議会の議会間交流に関するオンライン調印式についてお話したいと思います。

北海道とカナダ・アルバータ州は、1980年に姉妹州提携を結び、以後、スポーツ、学術や文化など幅広い分野で、活発な交流が行われています。このような素晴らしい関係は、その後の北海道博物館とアルバータ州のロイヤル・アルバータ博物館間の交流に結びついています。北海道庁では、毎年、本庁舎で、「アルバータ・デイ」というイベントを開催し、道民の皆さんに、アルバータ州との姉妹州提携やアルバータ州についてご紹介しています（昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止）。



2020年の姉妹提携40周年に向け、以前から様々な記念事業を計画していましたが、昨年1月の新型コロナウイルスの世界的流行により、従来5年毎の周年記念の年に対面で行われていた、両地域の代表による提携書への調印式を、オンライン形式に変更し、2020年11月の開催を予定していましたが、しかし調印式を目前に控えた頃、両地域における北海道の新型コロナウイルスの感染者数が急増したため、オンラインでの調印も中止となりました。

しかし、雪が溶け、春風が吹き始める頃、新たな関係が芽吹きました。アルバータ州議会と北海道議会は、以前交わした約束や構想の実現、つまり、議会間交流に関する合意書の調印式の実施を決めたのです。

北海道議会とアルバータ州議会の関係は、2008年、アルバータ州議会主催の日加修好80周年記念式典に、日本の自治体から唯一、北海道議会議長が招待を賜ったことから始まりました。その後、両議会は、両地域の発展に繋がる交流の支援を誓いました。

道議会の村田議長は、2019年のアルバータ州訪問の際、アルバータ州議会のクーパー議長から、議会間交流の提案を受けました。この時、この度の合意書調印式の基礎が築かれました。



議会間の調印は、元々、北海道・アルバータ州の姉妹友好提携40周年記念イベントの一環として計画されていました。今年3月、新型コロナウイルスの感染の広がりが落ち着きを見せ、両議長の日程調整がついたことで、オンライン調印式開催の運びとなりました。調印式は、日本時間2021年3月24日(アルバータ時間で2021年3月23日)に執り行われ、両地域のより深い関係構築への扉が新たに開かれました。この議会間の新しい関係を目指すのは、それぞれの議会制度及び民主制の推進策に関する情報と見識を共有し、議員と職員の交流を奨励し、多岐にわたる分野での協力関係をより一層強化していくことです。



この度の合意により、どのような交流が芽生え、繋がりが生まれるのでしょうか。そして、両地域の国際交流の更なる深化の先には、どんな世界が広がっているのでしょうか。時がたてば、その答えがわかるでしょう。



北海道JETスポットライト



北海道にはアメリカ、カナダ、シンガポール、中国、韓国、ドイツ、フランス、ロシアなどから約300人のJETプログラム参加者(外国語指導助手、国際交流員、スポーツ国際交流員)がいます。赤れんが通信では、こうした様々な国々からやって来た皆さんのストーリーを伝えていきます。



Meet Casey-Lyne!

こんにちは！私の名前はキャシー・リンですが、キャシーと呼んでもらっても構いません。私はJET3年目で、美しい都市、函館で高校の外国語指導助手(ALT)をしています。HAJETのプログラム「北海道イングリッシュチャレンジ」では、テストコーディネーターを2年務めています。出身はカナダ・アルバータ州のカルガリー市で、今年の夏に戻る予定です。帰国後は、大学院で英語や英文学を専攻し、修士号の取得を目指します。JETプログラムに申し込んだ時、雪の多いカルガリーの冬を逃れ、日本の南のどこか暖かい場所に配置されるのを希望していたのですが、北海道に配置されてとてもよかったと思います。本当に素敵な友達を作ることができ、皆と北海道の素晴らしい自然の魅力を一緒に楽しむことができ、とても恵まれていると思います。



住んでいる地域の好きなところはどこですか。

道南が大好きです！天気が良いことが多く、新幹線やフェリーに乗って簡単に東北地域に行けるからです。コロナ禍以前には、一年半の間に18都道府県を訪ねました。また、函館のイカ祭り、八雲の山車行列、厚沢部のジャガイモ祭りや木古内の寒中みそぎ祭りなど、この地方のたくさんのお祭りに参加しました。

これまで一番印象に残っていることは何ですか。

去年、五稜郭公園で毎年開催される野外劇「星の城、明日に輝け」のオーディションを受け、台本読みに参加しました。アイヌ時代から現在に至る、函館地域の歴史に関する物語です。2019年の公演を観て、とても感動しました。

2020年の上演に向け、当初私は、コスチュームや舞台照明に応募していました。いくつかの会議に参加した後、主催者の方たちがセリフのある役のオーディションを受けるよう勧めてくれました。残念ながら新型コロナウイルスの影響で、野外劇は開催中止となってしまいました。公演自体はなくなりましたが、大勢の日本人を前に、台本を読むというチャレンジを楽しみました。職場の仕事はいつも忙しく、自分にチャレンジを科すことや新しい出会いの大切さを忘れていました。

春の楽しみは何ですか。

春は、私の一番好きな季節です！新しい緑の芽が地面から顔を出し、つぼみが開き始めるのを見るのが大好きです。函館山、五稜郭公園や松前町など、道南には桜を見ながら散歩ができ、自然の中でリラックスできる場所がたくさんあります。長い冬の寒さを振り払い、外に出て探索するのは、とても気分がいいものです。

北海道で体験したいことは何ですか。

北海道の南の地域に住んでいると、道東、道央と道北方面に行くのは簡単ではありません。夏の帰国前に、私の頼もしい軽自動車で、この美しい島を巡りたいと思っています。具体的には、旭川周辺や、更に遠くの知床方面への一人旅を計画しています。（グーグル先生に相談したところ）函館と知床の往復には19時間かかるそうなので、道中楽しめる、お勧めのオーディオブックがあれば、ぜひ教えてください！

